

- 宜野湾市には、私有林人工林が無いことから、森林環境譲与税を活用して木材利用及び普及活動を進めることとしている。
- 令和6年度においては、宜野湾市産業まつりでの木工体験やパネル展示による普及啓発、海浜公園で行われるイベント等で使用可能な飲食等用ベンチを10台製作。

□ 事業内容

木材・普及啓発関係

- ・ 宜野湾市産業まつりにおいて、親子木工体験や森林環境譲与税に関するパネル展示等の取組により県産木材の利用促進・普及啓発を実施。
- ・ 横浜DeNAベイスターズキャンプなど、海浜公園で行われるイベント等で使用可能な飲食等用ベンチ10台製作。

【事業費】2,311千円（全額譲与税）

□ 取組の背景

- ・ 木材利用の促進、普及啓発を図るため。
- ・ 県産木材を市民、県民に触れていただき、県産木材の魅力をPRする。

□ 工夫・留意した点

- ・ 宜野湾市産業まつりの木工体験では、実際に触れることで多くの方に知っていただけるよう材料は県産材を使用。また、会場中央に体験ブースを設置するなど、多くの方に目に留まるよう工夫を行った。
- ・ 県産木材紹介パネルを設置し、県産材の持つ公益的機能の周知を図った。
- ・ 海浜公園に設置したテーブルに国産材を活用することにより、木材利用の促進を図った。

□ 取組の効果

- ・ たくさんの来場者に県産材に触れていただき、県産木材の周知、普及啓発を図ることができた。
- ・ 森林の持つ公益的機能を周知できた。
- ・ 木材利用することにより、森林整備の循環を促進できた。



（たまごづくり体験）



（森林機能のパネル展示）



（海浜公園のベンチ）

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：11,226千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：5.8%	④人口（※2）：100,125人	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より